

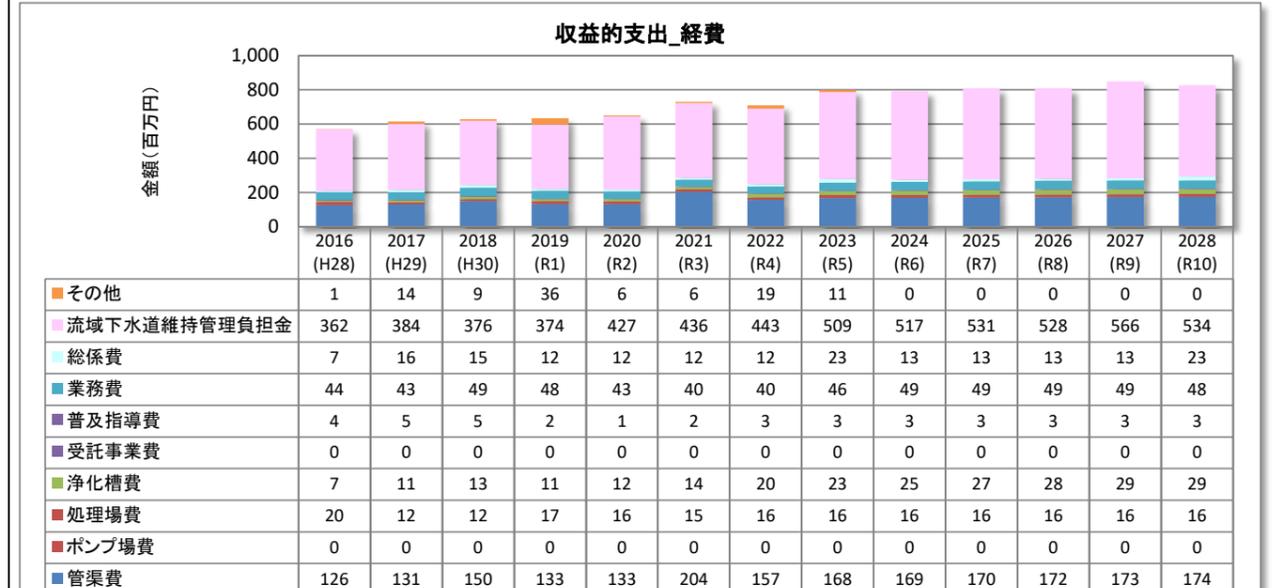
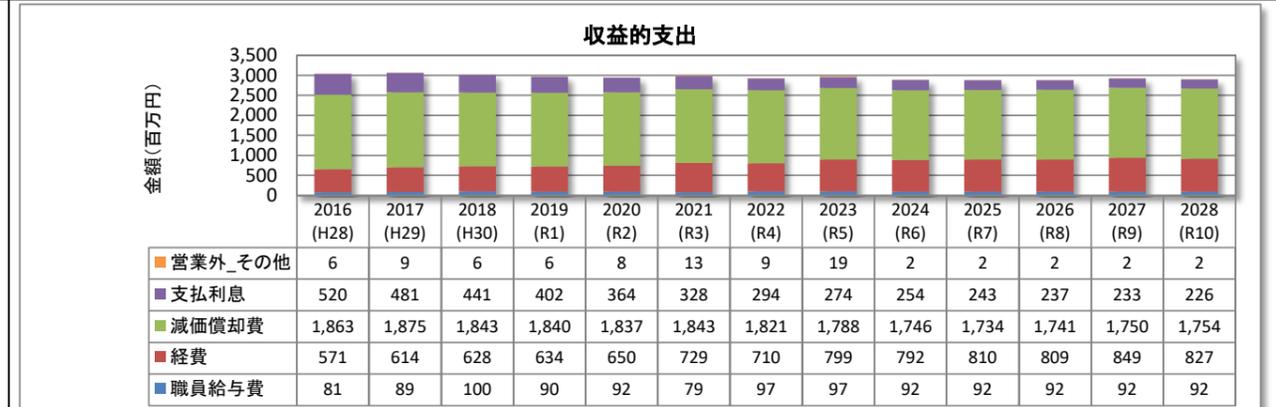
	現行ビジョン 使用料据置ケース H31.4 使用料改定後、使用料を据置きする	現行ビジョン 使用料改定ケース H31.4 使用料改訂後、R6 に再度使用料改定 (約 10%UP) を行う	今回中間見直し (使用料据置) R6 に予定していた使用料改定は行わない
収益的収支	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少による有収水量減の影響で、使用料収入は徐々に減少する ● H31 の使用料改定以降、R10 まで収入が支出を上回り、黒字を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用料据置ケースの資本的収支の補填財源残高不足を解消するため、R6 に使用料改定を行う ● 使用料改定により、R6 以降の黒字が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少による有収水量の減少、使用料改定の延期により、現行ビジョンより収益的収入が減少する ● 流域下水道維持管理負担金の増加により、現行ビジョンより収益的支出が増加する → R7 以降、支出が収入を上回り、赤字に転じる
資本的収支	<p>(R6 までは補填財源残高不足額を一般会計より繰入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● R7 以降、補填財源残高不足が生じる 	<p>(R6 までは補填財源残高不足額を一般会計より繰入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用料改定により補填財源残高不足が生じなくなる 	<p>(前回 R6 まで見込んでいた補填財源残高不足額の繰入は見込まない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● R6 以降、補填財源残高不足が生じる ● 污水管新規整備完了が R6 から R9 まで延びたことにより、現行ビジョンより将来の資本的支出が増加しているが、資本的収入も増加する
企業債			<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の資本的支出の増加に合わせ、将来の企業債が現行ビジョンより増加する

現行ビジョン（両ケース共通）



● 収益的支出の大半は減価償却費、流域下水道維持管理負担金（経費に含む）、支払利息である

今回中間見直し



● 経費の大半を占める流域下水道維持管理負担金は、現行ビジョンより増加している

資本的支出



● 污水管新規整備は R6 までの予定としている

資本的支出



● 污水管新規整備完了が R6 から R9 まで延びた
 → R6 までで見込んでいた建設改良費が R9 までに引き延びている
 ● 雨水工事の追加や、流域下水道建設負担金の増加等の影響により、現行ビジョンより合計額は増加している

収益的支出
内訳

資本的支出
内訳